

藤井 清佳 (FUJII Sayaka)

研究員

1995年 広島県福山市 生まれ
2018年 岡山大学 環境理工学部 環境管理工学科 卒業
2020年 岡山大学大学院 環境生命科学研究科
博士前期課程 修了
2020年 農研機構 農村工学研究部門
地域資源工学研究領域 資源評価ユニット
2021年 同部門 資源利用研究領域
地域資源利用・管理グループ



研究者の横顔

<自己紹介：福山から岡山へ>

広島県福山市（旧深安郡神辺町）の小さな兼業農家に生まれ、田んぼ、ため池、水路、生き物など、農業が生活のすぐそばにあるのが私の当たり前でした。年を追うごとに新しい家が建ち、太陽光パネルができ、道路が開通し、スクミリンゴガイが現れ始め…。農地を取り巻く状況も、当たり前だった景色も、こんなに簡単に姿を変えるのだと実感しました。

草遊びが好き、何か環境や農業に関わることがしたい、という動機から、雑草の研究室がある！面白そう！と環境理工学部に入學し、今までやってこなかった物理系科目と、ひたすら格闘しました。「環境」に釣られて農業土木を勉強する、お馴染みのパターンです。

<研究について：岡山からつくばへ>

大学では、ブラジルチドメグサという水生植物が研究対象でした。水路などを埋め尽くすように、急速に繁殖するのがこの植物の困ったところで、その生態や生長の抑制などについて研究していました。実験用の水耕液を調合したり、巻尺と野帳を携えて胴長靴でフィールドを歩き回ったりするような研究室から一転、農工研では、農村社会学を扱う資源評価ユニット（現 地域資源利用・管理グループ）に配属されました。

現在は、多面的機能直接支払活動の支出状況から、経済波及効果の分析を行っています。他にも農作業時間の計測や、地元の方への聞き取りなど、様々な調査に同行しながら、勉強を重ねる日々です。勉強するほど勉強が足りないことに気づく無限ループと闘いつつ、できることを少しずつ増やしていけたらと思います。まずは、方言を聞き取れるようになることからでしょうか。

<趣味は模索中>

大学時代は、少林寺拳法部に所属していました。今はもう練習しなくなって久しいですが、体幹がまだ丈夫なうちに体を鍛え直そうと画策しています。今年は、お誘いをきっかけに登山を始めてみました。登山道を歩きながら、人の足が運んだらしき草花たちを見つけては、その強かさに驚いています。



山形県にて、調査の様子



大学時代（4年前）